

災害時の連絡方法

地震や洪水などの大規模災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」・「災害用伝言板(web171)」が開設されます。

災害用伝言ダイヤル 17171

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。

体験利用日●毎月1日・15日●1月1～3日●防災週間●防災とボランティア週間

伝言の録音方法

伝言の再生方法

災害用伝言板サービス

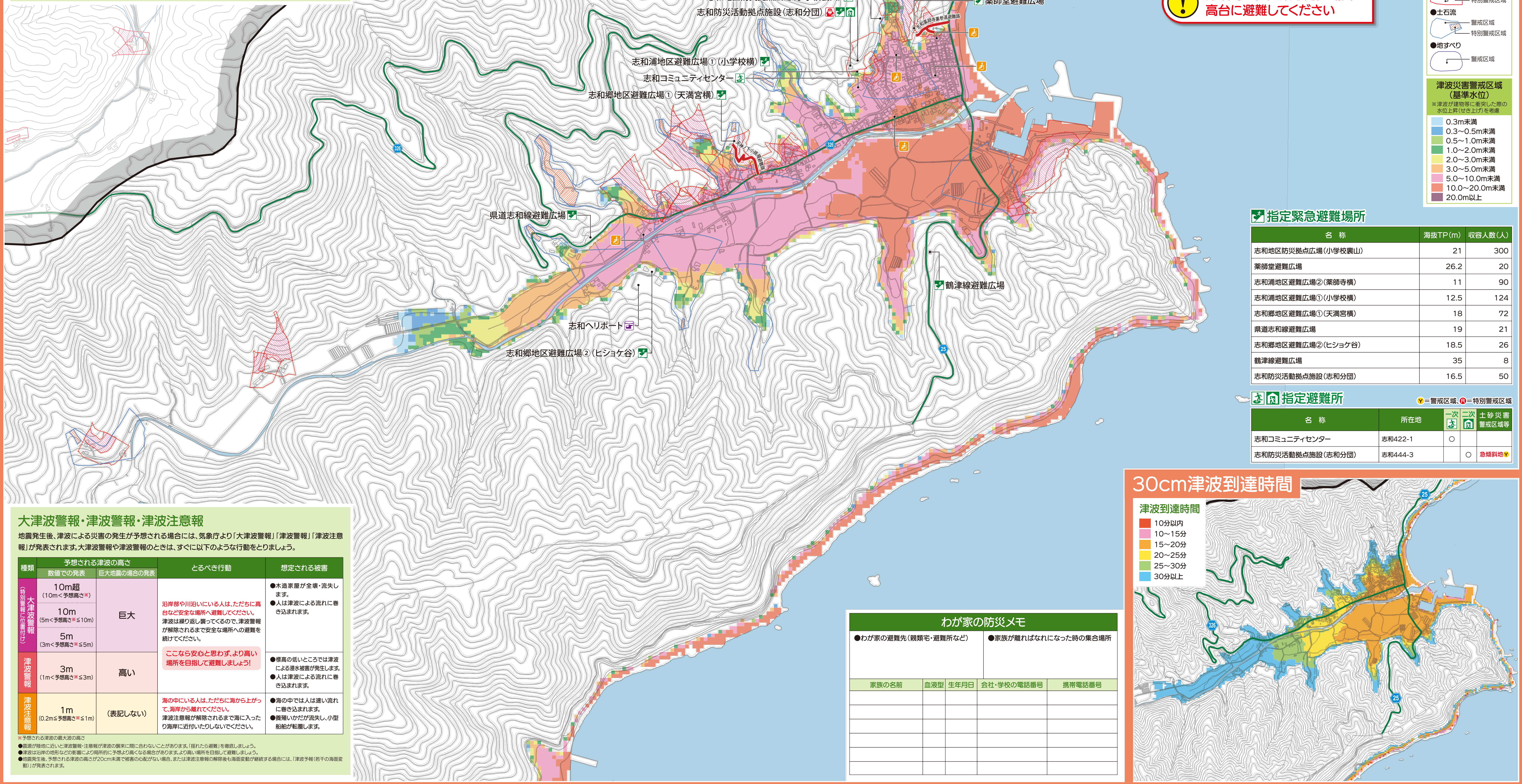
携帯電話を使って被災者は安否状況の伝言を登録し、外部の人がその伝言を確認できます。携帯電話のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、伝言の登録・確認を行います。

災害用伝言板(web171)

https://www.web171.jp/

※左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください

インターネットを利用して被災者の安否確認を行う伝言板です。伝言情報の登録・閲覧が可能です。



津波時は指定緊急避難場所か高台に避難してください

施設等凡例

一次避難所

二次避難所

指定緊急避難場所

福祉避難所

役場

警察・駐在所

消防・消防団

医療救護施設

ヘリポート

水位観測所

雨量観測所

避難支援用道具保管庫

緊急避難路

高速道路

国道

主な道路

鉄道

洪水浸水実績

氾濫注意区域

土砂災害(特別)警戒区域

●急傾斜地の崩壊

警戒区域

特別警戒区域

●土石流

警戒区域

特別警戒区域

●地すべり

警戒区域

津波災害警戒区域(基準水位)

※津波が建物等に衝突した際の水位上昇(引き上げ)を考慮

0.3m未満

0.3～0.5m未満

0.5～1.0m未満

1.0～2.0m未満

2.0～3.0m未満

3.0～5.0m未満

5.0～10.0m未満

10.0～20.0m未満

20.0m以上

指定緊急避難場所

名 称	海拔TP(m)	収容人数(人)
志和地区防災拠点広場(小学校裏山)	21	300
薬師堂避難広場	26.2	20
志和浦地区避難広場②(薬師寺横)	11	90
志和浦地区避難広場①(小学校横)	12.5	124
志和郷地区避難広場①(天満宮横)	18	72
県道志和線避難広場	19	21
志和郷地区避難広場②(ヒシヨケ谷)	18.5	26
鶴津線避難広場	35	8
志和防災活動拠点施設(志和分団)	16.5	50

指定避難所

●=警戒区域、◎=特別警戒区域

名 称	所在地	一次	二次	土砂災害警戒区域等
志和コミュニティセンター	志和422-1	○		
志和防災活動拠点施設(志和分団)	志和444-3		○	急傾斜地

大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。大津波警報や津波警報のときは、すぐに以下のような行動をとります。

種類

予想される津波の高さ

とるべき行動

想定される被害

大津波警報

10m超
(10m<予想高さ※)

沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。

●木造家屋が全壊・流失します。
●人は津波による流れに巻き込まれます。

津波警報

10m
(5m<予想高さ※≤10m)
5m
(3m<予想高さ※≤5m)

ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!

●標高の低いところでは津波による浸水被害が発生します。
●人は津波による流れに巻き込まれます。

津波注意報

3m
(1m<予想高さ※≤3m)
1m
(0.2m≤予想高さ※≤1m)

海の中にいる人は、ただちに海から上って、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。
●漂流いかながら流失し、小型船舶が転覆します。

※予想される津波の最大波の高さ

●震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の発生に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
●津波は沿岸の地形などの影響により場所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」が発表されます。

